

令和5年度 美術科 <第3学年> 年間指導計画と評価規準

美術科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の動きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

美術科 第2学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の動きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

第3学年年間指導計画（評価規準）

★ 知は、知識・技能

思は、思考・判断・表現

主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導内容	評価規準	評価方法
4	雪舟に学ぶ水墨画の世界～墨の濃淡で作る世界～ <5時間>	《鑑賞・表現》 1 雪舟 「秋冬山水図」の鑑賞 2 墨画の技法と実践 (前年度の復習)	知 水墨画の技法を理解し、実際に筆と墨をある程度、使いこなすことができる。雪舟の作品の模写を通して、墨の濃淡を効果的に使うことができる。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
5			思 作品に描かれてある事物や、構図、墨の濃淡などから何が描かれているのか考えることができる。 水墨画のにじみや微妙な明暗の変化を感じ取り、表現に生かすことができる。	
6			主 描かれてある事物などが何なのか考え、友人と意見を交換し合うことができる。水墨画独特の表現の面白みに気づき試行錯誤している。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。	
	日本画の世界～自然の風景～ <3時間>	《絵画》 1 日本画とは 2 日本画における顔彩 3 主題を考える(絵づくり)	知 受け継がれてきた美意識や、伝統や文化のよさなどを感じ取り、美術文化の継承について考えることができる。日本画絵具の特性を理解し、表現にあった着色や表現の工夫をしている。丁寧に作品が仕上がっている。	定期テスト 授業観察 鑑賞ワークシート
			思 日常の中に作品の種を見つけることができる。 どこを見せたいのか、誰の目線で、どのような構図がいいのか、より効果的な表現を考えられている。	
			主 美術文化の継承や意義や方法について関心をもち、積極的に取り組んでいる。 日本画に興味をもち、試行錯誤しながら余地良い作品をつくらうとしている。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。	

7	仏像の表情 ～飛鳥から鎌倉まで 変遷～ <2時間>	《鑑賞》 1 飛鳥～奈良の特徴 2 平安～鎌倉の特徴 3 興福寺の阿修羅 4 三学院の勢至菩薩坐像	知 仏像美術の特徴や仕組みを理解し、仏像を学習前より理解することができる。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
		思 興福寺の阿修羅の顔の表情を観察して、どんな感情なのか考えることができる。仏像の姿勢に込められた思いについて考えることができる。 なぜ仏像はつくられたのか、考えることができる。ビジュアルや作品の時代背景などを観察して、感じたことを言葉で表現することができる。		
		主 時代によって特徴の異なる仏像を観て、仏像は何を発信しているのか考え、仏像の見方・考え方に興味を持って取り組んでいる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。		
8	夏期休暇課題 なし			
9	暮らしに息づく土の 造形～デザインと使 いやすさを考える～ <5時間>	《陶芸》 1 陶芸の技法や道具について 2 デザインとは何か 3 使いやすいをモノづくり	知 陶芸の技法や手順を理解し、素早く丁寧に作業を行うことができる。作品をより良く展示するための台紙を制作することができる。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
		思 美しいとされるデザインのモノづくりを鑑賞し、生活空間にもたらず変化や豊かさについて考える。デザインとは何かを話し合い、話し合ったデザイン性を作品に落とし込むことができる。形や装飾などの工夫がみられる。自分の作品や友達の作品の良さや美しさを感じ取り言葉にすることができる。		
		主 陶土の特性と触れ合いながら、試行錯誤して作品を計画的に完成させることができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。		
10	日本画の世界 ～自然の風景～ <5時間>	《絵画》 1 岩絵の具の種類 2 日本画絵具 3 一学期制作の続き	知 受け継がれてきた美意識や、伝統や文化のよさなどを感じ取り、美術文化の継承について考えることができる。日本画絵具の特性を理解し、表現にあった着色や表現の工夫をしている。丁寧に作品が仕上がっている。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
11		思 日常の中に作品の種を見つけることができる。どこを見せたいのか、誰の目線で、どのような構図がいいのか、より効果的な表現を考えられている。		
		主 美術文化の継承や意義や方法について関心をもち、積極的に取り組んでいる。日本画に興味をもち、試行錯誤しながら余地良い作品をつくろうとしている。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。		
12	自分へ贈る卒業記念 品 ～思い出を飾る～ <11時間>	《鑑賞・表現》 1 参考作品などから着想を得る。 2 作品スケッチをして構想を練る。 3 木彫りの技法 4 制作 5 鑑賞会	知 形や色彩、材料の質感などに着目し、意図や効果などを捉え、材料や用具の特徴を生かし、見通しをもって作ることができる。鑑賞から自分の作品に生かすことができる。彫刻刀の安全な使い方で作成できている。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
1		思 使う場面や飾る場所、込めた思いなどをもとに、形や色彩、材料の効果を考え、構想を練ることができる。自分の良さや、可能性を見出し、今の自分らしさを表現できる。自分の作品や友達の作品の良さや美しさを感じ取り言葉にすることができる。		
2		主 木彫の小箱制作に関心をもち、試行錯誤している。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。友達の作品の良さや美しさ工夫点などを感じ取り、見方・考え方を深めることができる。		

	<p>動画を作る ～仲間との交流の中 から～ <4 時間></p>	<p>《表現》 1 各クラスで主題をたて て、オリジナル動画の 構想を立てる。 2 学年で発表鑑賞会</p>	<p>知 自分たちで決めたテーマを理解し、構図や動き、コマ割り、時間の経過などに着目し、伝達の意図を捉え、カメラの特性を生かして表すことができる。表現を効果的に取り入れた作品となっている。</p>	<p>定期テスト 授業観察 鑑賞ワークシ ート</p>
3			<p>思 伝えたいことや、どんなストーリーにするのかなど、友達と意見を出し合ったアイデアなどを元に、コマ割りや構図、背景などの効果などを考え、オリジナル動画を制作している。</p> <p>主 グループで協力し合っている。動画ならではの工夫を生かした表現効果を味わい、共同制作ならではの(各クラス)世界観の作品となっている。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。仲間との交流によって作られる動画制作に関心を持ち、各クラスで制作された動画作品の良いところや工夫点について考え言葉にすることができる。</p>	